

2025年度 大学院生プロジェクト型研究 公募要領

1. 趣旨

大学院生プロジェクト型研究公募は、「実践指向型教育専門職の養成プログラム」（2007年度～2009年度）の中で行われた「大学院生中心プロジェクト型共同研究」および研究科長裁量経費により実施された「大学院生プロジェクト型共同研究」（2010年度～2012年度）、「大学院生プロジェクト型研究」（2013年度～2015年度）における諸種の成果を踏まえて実施するものである。本公募の目的は、大学院生が主体的に研究を企画・実施・報告する力を養い、研究能力を高める機会を提供することにある。

2. 公募内容

研究課題は自由に設定してよい。

3. 応募条件

研究代表者は、本研究科博士課程後期3年の課程および前期2年の課程に在籍する正規生とする。ただし、休学中の者、研究期間中に外部資金を得る者は研究代表者になれない（注）。

共同研究の場合、研究組織（研究分担者等）に、本研究科博士課程後期3年の課程および前期2年の課程に在籍する正規生を加えることができる。ただし、休学中の者、日本学術振興会特別研究員（DC）に採用されている者、およびこれに準ずる者を研究組織に加えることはできない。

なお、単独研究でも可とする。ただし、単独・共同いずれの場合も、同一の者が複数の研究課題に関わることはできない。

4. 補助金額

10課題程度を採択予定。補助金額の上限は下記のとおりとする。

- ・研究代表者が本研究科博士課程後期3年の課程に在籍する正規生の場合
…… 1課題につき 15万円
- ・研究代表者が本研究科博士課程前期2年の課程に在籍する正規生の場合
…… 1課題につき 10万円

ただし、英文による研究成果報告書を提出する場合は、英文校閲に係る費用を別途支給する（研究成果の報告については下記6.を参照）。

5. 研究期間

2025年6月～2026年3月

6. 研究成果の報告

研究成果報告会での報告および報告書の提出が義務づけられる。

※報告書原稿提出締切：2026年2月3日（火）

また、「先端教育研究実践センター年報第26号（旧・教育ネットワークセンター年報）」

（2026年3月発行予定）に、研究成果に関わる論文を投稿することができる。なお、研究成果を学術雑誌や学会発表等で公表する場合には、本プロジェクトにより助成を受けたことを表示すること。

（注）ここでいう「外部資金」とは、学術振興会特別研究員として獲得した研究費や、科学研究費補助金・民間研究助成等の研究代表者として獲得した研究費を指すものとする。なお、学内における研究助成制度（東北大学高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト、東北大学高等大学院博士学生フェローシップなど）により充当された研究費については「外部資金」とはみなさず、これら助成制度の採択者も本公募に応募できるものとする。ただし、本公募の審査に当たっては、応募書類の内容に加えて学内助成制度による研究費の受給状況を考慮し、総合的に行うものとする。